

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務分科会・総務委員会

補正予算案については、消防救急デジタル無線の整備に当たって、熊本市単独ではなく、周辺の消防事務組合と共同で調達することでコスト削減を図るべきであったとの指摘がありました。

また、工事請負契約案件については、本市が推進する総合評価方式について、価格だけでなく業者の工事実績なども判断基準となるので、新規参入業者への対応を含め、運用や制度の変更は慎重に行うべきとの意見が述べられました。

このほか、委員会の所管事務調査として、監査委員の出席を要請し、代表監査委員に対し現在の監査体制における合議のあり方や意思決定過程における問題点について指摘がありました。また、地域防災計画の見直しや行財政改革計画の進捗状況について報告があり、それぞれ現状の問題点に対する指摘があったほか、選挙投開票事務における開票時間短縮へ向けた改善要望がありました。

企画教育市民分科会・企画教育市民委員会

補正予算案については、西区役所駐車場整備に関連して、各区役所駐車場の利用状況について論議がありました。

委員会においては所管事務調査として、各区の振興ビジョン概要について、策定に至るまでの経緯や内容について確認し、平成25年3月までに振興ビジョンを策定するという現スケジュールは、時間的に余裕がないのではないかという指摘が行われました。また、熊本市立高校入試事務改善に関して、入試事務全体の流れや採点事務の現状・課題などを確認し、今後の改善策として、更なる意識改革を行うことや教育委員会と学校が連携を図りながら、「適正な入試事務の遂行」という実績を積み上げていくよう意見要望が述べられました。

福祉子ども分科会・福祉子ども委員会

補正予算案については、精神科救急医療システムの相談窓口設置に関する情報の周知徹底や、地域支え合い体制づくり事業により助成を受ける各NPO団体の公益性の確保等に関して論議がありました。また、国民健康保険会計に係る専決処分の報告に対しては、今後の収支改善のあり方について意見が述べられました。

委員会では、子どもの医療費無料化拡充に関する請願に関し、医療費無料化の対象年齢を引き上げる要望が述べられました。委員会の所管事務調査として、生活保護費の支給漏れや過払いの発生を受け、ケースワーカー及び査察指導員の人員確保や配置の見直し、再発防止のための業務のチェック体制の強化等について論議がありました。

環境水道分科会・環境水道委員会

補正予算案のうち、再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関し、設備導入計画策定にあたっては、本市の環境資源を有効活用する方策の検討や地域の防災拠点となる住民に身近な避難場所への設置など再生可能エネルギーの普及促進への取り組みについて要望がありました。また、上下水道総合管理システム開発に関しては、徹底したデータテストの実施や期間内の事業完了などの要望がありました。

委員会では、新設されたくまもと地下水財団の現状と今後の運営に関する論議や、震災廃棄物の処理に関する本市の対応や被災地支援について、本市の地下水における放射性物質調査の検討、工場騒音に関する住民問題の早期解決に向けた要望がありました。

経済分科会・経済委員会

補正予算案については、水産資源回復・基盤整備交付金事業に関し、県並みの補助率引き上げによる支援拡充並びに有明海沿岸地域での広域的な水産振興策の研究について、また来年度開催の「全国豊かな海づくり大会」にあたり、本大会を契機とした総合的な環境保全の取組強化、更に中心市街地への経済波及に向けた積極的なPRについて意見要望が述べられました。

委員会では陳情に関し、競輪場外車券売場設置の意向調査並びに周辺自治会同意の状況について論議がありました。

このほか所管事務調査として、周辺地域と一体的なくまもと江津湖フェスタの開催、熊本城マラソン継続に向けた諸課題の検証、食肉センター廃止に係る市の責務、農業委員会調査員選定における農区長との協議の実施等について論議がありました。

都市整備分科会・都市整備委員会

補正予算案については、熊本電鉄への地域公共交通確保維持改善事業費補助金を利用した鉄道維持費助成に関して、本市初の助成制度適用となることから、助成後の指導・管理の徹底、適正な制度運用に努めるよう要望が述べられました。また、本事業の予算化にあたっての議会への報告時期や、助成実施を契機とした事故の発生が懸念される危険な踏切の改良などについて要望が述べられました。

また、委員会の所管事務調査として、街路灯のLED化に関する意見のほか、花畑・桜町地区再開事業の状況、放置自転車対策としての駐輪場有料化の現状や政令指定都市移行後の組織や道路管理などに関して論議がありました。

予算決算委員会

～審査概要・締めくくり総括質疑から～

全議員参加により、補正予算及び関連議案について審査を行いました。審査の概要は、補正予算の概況並びに歳入についての説明を聴取した後、総括質疑を省略し、6分科会による詳細な審査を行い、締めくくり総括質疑を行った後、採決いたしました。

なお、締めくくり総括質疑の内容は以下のとおりです。
・再生可能エネルギー（※1）等導入推進事業について

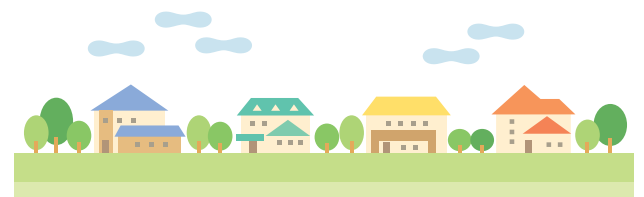
住民に身近な防災拠点となる小中学校への計画的な太陽光発電設備設置、「地球温暖化防止条例」を制定し、「環境保全都市宣言」に相応しい総合的な環境施策の推進ならびに「省エネ対策」や「エネルギーの自給自足実現」による「エコタウン（※2）」形成へ向けた取り組みについて
※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。

平成24年第2回定例会の主な議決結果(会派)

議案番号・件名	会派別賛否							議決結果
	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	共産党	日本教育	自由ク	
議第161号 平成24年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第162号 平成24年度熊本市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第166号 熊本市税条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第168号 熊本市再生可能エネルギー等導入推進基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第11号 熊本市政治倫理条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	×	可決

可決された意見書・決議

発議第12号	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書について
発議第13号	防災・減災対策としての公共事業による社会基盤再構築を求める意見書について
発議第14号	基地対策予算の増額等を求める意見書について



用語解説

※1 再生可能エネルギー

水力、地熱、太陽光、風力エネルギーなど、自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用可能なエネルギー。

※2 エコタウン

産業活動によって排出される廃棄物をリサイクルすることなどによって、ゼロ・エミッション（あらゆる廃棄物をゼロにすること）を目指す地域。